

モノづくり現場

～エレクトロヒート技術最前線～ 6

ファーストウッド

ファーストウッドは、木材の集成材加工やプレカット加工を手がける。飯田グループホールディングス（HD）の一員として、グループの不動産会社向けに供給する。主力の福井工場では2008年頃、住宅の土台向けの集成材加工を始めた。その時に導入した設備には、「高周波誘電加熱」というエレクトロヒート技術が大きな役割を果たしている。

使用環境が厳しい土台向けの集成材には、防腐や防蟻の対策として、まず、集成材を「高周波誘電加熱プレス

て薬剤を注入する。その処理には、従来の集成材加工にはない加熱の工程が必要となる。

加熱処理で防腐・防蟻実現

機」で加工する。集成材とは、複数の板材をプレス機で加工する。接着剤で貼り合わせた材料は、複数の板材をプレス機で加工する。接着剤で貼り合わせた材料は、強度を高めるには熱硬化性という。

比較はできないが、常温の場合より20分以上短い時間で接着できる

比較はできないが、常温の場合より20分以上短い時間で接着できる

「高周波誘電加熱プレス機」で加工する。集成材とは、複数の板材をプレス機で加工する。接着剤で貼り合わせた材料は、強度を高めるには熱硬化性という。



一般的な加熱処理をしない「湿式型」。「提案できる木材も多く使用される。だのバリエーションが注がった」(中川慶一)が、乾式型では余分な薬剤の80%以上を回収できる。薬剤をより有効に活用できる。

同社は廃棄物のおがくずを家畜用の飼料に再利用するなど、環境への取り組みにも熱心。今後、省エネ設備の導入なども推進する。

(京都・園尾雅之)

「高周波誘電加熱」を導入

【事業所概要】▽所在地 福井市川尻町の1266の1、0776・88・0015
 5▽主要生産品目 木材加工、建築資材や建築材料の販売、建築・土木工事の設計施工
 工▽年間エネルギー使用量(15年度) 3438キロワット(原油換算) △年間CO2排出量(同) 8910トン